

# 令和元年度かいぼり結果概要報告【武蔵野の森公園：修景池】

## 1. かいぼりの概要

【実施日】 令和元年 12月 14日

【天候】 晴れ、曇り

【生物調査参加者数】

ボランティア 25人・関係者約 30人

## 2. 結果概要

【水質】 かいぼり直後はCOD及びT-Nが減少しており、かいぼり後は、COD、T-N、T-Pが減少しました。泥土の除去や池干しにより栄養塩が減少したと考えられます。SSはかいぼり直後及びかいぼり後ともにかいぼり前より減少がみられ、透視度もかいぼり前より上昇しました。池水の入れ替えや泥土の搬出により水中の懸濁物質が減少したと考えられます。

【水生生物】 重要種であるドジョウ、ミナミメダカは、かいぼり後も引き続き確認されています。一方で、特定外来生物に指定されているウシガエルが確認されており、今後も池の生物を見守っていく必要があります。

## 3. 調査結果

### 水質

項目	単位	令和元年度		令和2年度
		かいぼり前	かいぼり直後	かいぼり後
調査日		R1.8.9	R2.3.6	R2.8.3
天候		晴	晴	晴
気温	°C	36	11.5	32
水温	°C	35.0	9.5	31
透視度	cm	24	30	31
ORP(酸化還元電位)	mV	+114	+354	+132
pH(水素イオン指数)		9.6	7.8	9.1
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	18	9.1	11
BOD(生物学的酸素消費量)	mg/L	4.9	5.1	4.8
T-N(全窒素)	mg/L	2.00	1.5	0.88
T-P(全リン)	mg/L	0.060	0.059	0.043
DO(溶存酸素)	mg/L	14.1	11.9	13.8
SS(浮遊物質)	mg/L	16	11	13

### 捕獲した生物と個体数

和名	令和元年		令和2年度	重要種		外来種 注3
	かいぼり前	かいぼり時	かいぼり後	環境省RL (2020) 注1	東京都RDB (2013)注2 北多摩	
	R1.7.24	R1.12.14	R2.7.25			
モノアラガイ科			2			
サカマキガイ			12			○
ナガレビル科			1			
チョウ		5				
カワリヌマエビ属	300	440	50			○
アメリカザリガニ	22	46	36			○
コイ	1	245				○
ギンブナ		35				
モツゴ	147	10582	89			
ドジョウ		10	5	NT		
ヒメダカ		1	1			○
ミナミメダカ	38	267	25	VU	CR+EN	
ウシガエル(成体)			7			○
ウシガエル(幼生)			8			○
シュレーゲルアオガエル(幼生)	5				VU	
クサガメ		3			(DD)	○
ミシシippアカミミガメ	1	4				○
カブトニオイガメ		1				○



水生昆虫を除く/かいぼり前・かいぼり後はサンプリング調査、かいぼり時は全数捕獲

※1 環境省レッドリスト2020 ※2 レッドデータブック東京2013  
 ※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと